

# 平成28年度 基本評価調書

施策名	国際理解教育の充実	所管部局	教育庁	作成責任者	教育部長 杉本 昭則	施策コード	11	08
		照会先	教育政策課教育計画G (内35-418)	関係課	高校教育課、義務教育課			

## Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

### 1 目標等の設定

総合計画等の位置づけ	総計	大項目(分野)	中項目(政策の柱)	小項目(政策の方向性)	総合計画の指標	
			人・地域	北海道の未来を拓く人材の育成	グローバル化に対応した世界で活躍できる多様な人材の育成	国際理解教育を行っている公立高校の割合
	北海道創生総合戦略	A2422	北海道 強靱化計画	新・北海道 ビジョン	C06303,C06304,C06310,C06401,C06402,C06405 C06406,C06407,C06408,C06506	
	特定分野別計画等	北海道教育推進計画				
現状と課題	<p>・人口減少やグローバル化が急速に進行する中で、ふるさとに誇りを持ち、地域や産業を支える人材とともに、国際的な分野で活躍できる人材の育成が必要となっている。</p>			施策目標	<p>・活力ある未来を拓くため、若者の留学支援や世界を舞台に活躍できる人材の育成や、既成概念にとらわれないアイデアで「新たな価値」を創出する人材の発掘・育成を推進する。</p>	
施策の推進体制 (役割・取組等)	<p>【国際理解教育の充実】                      【国】 生徒の英語力向上推進プランの策定、教員の英語力、指導力向上                      【道】 教員の資質能力の向上を図る研修会の実施 グローバルな人材の育成に向けた事業等の実施 DVD教材の作成、配付などの条件整備の推進 道独自の英語検定の実施による生徒の英語力の向上 教員の指導力向上に向けた教員加配 帰国・外国人児童生徒の受け入れ体制の整備等に向けた資料の作成、web掲載など                      【市町村】 各種研修への参加の促進及び成果の還元のための設定 ネイティブスピーカーや英語に堪能な人材の活用など</p>				施策の予算額	
					H27	26,635
					H28	28,759
					H29	-
今年度の主な取組	<p>外国語教育の充実、国際理解・異文化理解教育の充実、外国人児童生徒の教育の充実</p>					
<p>：主要指標に係る取組                      ：その他の取組</p>						

# Do & Check 施策評価

## 1 - 2 取組の結果

実績と成果等		(関連する計画等)		
		総合戦略	強靱化	ビジョン
・ALTを全道に62名配置し、外国語の実践的な指導を行ったほか、外国語活動等に関する教員研修及びスーパーグローバルハイスクールにおける実践研究と研修成果の普及を行った。		-	-	C06303, C06304, C06402, C06407, C06408, C06506
・オールイングリッシュによる生活を体験できる「イングリッシュキャンプ」を6会場で開催し、小中併せて202名の参加があったほか、高校生向けに「スーパーイングリッシュキャンプ」を開催し国際理解・異文化理解のための体験交流機会の充実を図った。		-	-	C06406
・高校生の留学促進のための海外留学フェアを6回開催した。		-	-	C06310, C06405
・モデル校として8校を指定し、ICT等を活用して海外の高校生等との交流を行う「U - 18未来フォーラム」を開催する。各モデル校は近隣の高校生とともに海外の高校生等と意見交換を行う地区フォーラムを行う。またモデル校8校が一同に会して全道フォーラムを行う。		A2422	-	C06401, C06310, C06405
・「帰国・外国人児童生徒が生き生きと学校生活を送るために ~受入れと指導のQ & A~」のWeb掲載について、各教育局及び関係道立学校に対し周知し、日本語指導が必要な帰国・外国人児童生徒を円滑に受け入れる体制の整備を図った。		-	-	-
(2) その他の取組の成果等				
国等提案・要望状況	<p>・地方自治体で一定の資質能力を備えた外国語指導助手を確保することが可能となるよう、国に対し、JETプログラムの継続及び拡充を要望した。(平成27年7月)</p> <p>・グローバル人材を育成するための事業制度の充実を図る観点から、国に対し、イングリッシュキャンプの充実を図る財源措置を図るよう要望した。(平成27年7月)</p>	施策に関する道民ニーズ	<p>・コミュニケーション能力を高める上で、語学力は大切であり、実際に外国人と会話する機会を少しでも多く確保することが有効と考える。(平成28年1月～2月の期間、計10回実施 グローバル人材育成に関する意見交換会において、外国領事館関係者が述べた意見)</p> <p>・日常的に外国人と触れあうことのできる機会を確保することが大切である。(平成28年1月～2月の期間、計10回実施 グローバル人材育成に関する意見交換会において、市町村関係者が述べた意見)</p> <p>・特定の地域に偏ることなく、海外の国や地域に対する興味・関心を培い、世界の多様性を理解することが大切である。(平成28年1月～2月の期間、計10回実施 グローバル人材育成に関する意見交換会において、外国領事館関係者が述べた意見)</p> <p>・上記意見を参考に、イングリッシュキャンプ、スーパーイングリッシュキャンプ、イングリッシュミーティングにおいて、様々な国の外国人と児童生徒が直接ふれあう機会を充実することとした。</p>	

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

Do & Check 施策評価

1 目標等の設定(その2)

2-2 連携の取組状況

総合計画の 位置付け	連携内容	連携先		取組の実績と成果
		施策コード	関係部・関係課	
	・グローバル人材を育成する取組を推進するに当たり、関係部と連携し、私立高校生を参加対象とするほか、大学関係者を講師として活用 ・道では、北海道の将来を支える人材の育成に向けて、オール北海道で協働して取組を進めるための指針となる「北海道グローバル人材育成方針案」の作成に当たり、多様な分野からの参画を得て、検討委員会を設置 ・道教委は、学校教育を所管する職員が委員として方針案策定に参画	-	総務部学事課	・昨年度10月に北海道スーパーグローバルハイスクール中間成果報告会を実施し、北海道内のスーパーグローバルハイスクール指定校(私立高校を含む)の生徒が、自校の取組について説明を行い、アソシエイトの生徒とともに北海道のグローバル化について話し合いを行うなど、北海道のグローバル・リーダー育成の取組の普及を図った。 ・外国語指導助手を対象とした指導力等向上研修や、新規来日者を対象としたガイダンスを行い、授業や行事等により積極的に取り組むよう意識の向上を図った。 ・北海道グローバル人材育成方針案検討委員会を計3回、グローバル人材育成に関する意見交換会を計10回開催し、道教委職員も参画するなど、北海道のグローバル化に対応する人材を育成する上での課題及び求められる人物像について、道内の多様な関係者間での情報共有を図った。
		N0211	総合政策部政策局参事	
		N0212	総合政策部国際課、政策局参事	

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)	Do & Check 施策評価
---------------------------------------	-----------------

2 成果指標の設定

3 - 2 成果指標の達成度合

主	主要指標名(単位)	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	A	評価年度	H27	達成度合の分析 ほか
		基準年度	H26	年度	H28	最終年度	H31					
国際理解教育を行っている公立高校の割合		基準年度	H26	年度	H28	最終年度	H31	達成度合	A	評価年度	H27	各学校において海外からの留学生や海外からの旅行団の受入などの体制が徐々に整備されてきているとともに、授業や行事等におけるALTの活用が促進されるなど、効果が現れている。
		基準値	71.0	目標値	82.6	最終目標値	100.0	年度	H27	H28	進捗率	
〔指標の説明〕 姉妹校との生徒の交流会や外国人による講演会など国際理解教育に関する取組を行っている公立高等学校の割合	根拠計画 北海道総合計画 北海道創生総合戦略	増減方向		達成率の算式		目標値	78.3	82.6	100.0			
		増加		$\frac{\text{実績値}}{\text{目標値}} \times 100$		実績値	83.8	-	83.8			
						達成率	107.1%	-	83.8%			

本施策に成果指標を設定できない理由	判定 (直近の達成率(%))	A	B	C	D	-	結果
	100以上	90以上100未満	80以上90未満	80未満	算定不可		
	主要指標	1					
関連指標							





施策名	国際理解教育の充実	施策コード	11	08
-----	-----------	-------	----	----

Check 施策評価

6 二次評価結果（知事による評価）

改善意見	【施策間の連携状況(関連する施策間・部局間で一層の相互連携が必要)】 総合計画における「北海道の未来を拓く人材の育成」を進める観点から、知事部局と教育庁の連携により、より効果的な取組を検討すること。
------	--

平成28年度 基本評価調書

施策名	国際理解教育の充実	施策コード	11	08
-----	-----------	-------	----	----

Check 事務事業評価 Action

7 二次評価結果（知事による評価）

整理番号	事務事業名	一次評価(平成29年度の方向性)(再掲)							二次政策評価		主な対応	
		重点点検事項			必要な見直し	予算	サービス	方向性	方向性	二次政策評価意見	方向性	H28二次評価意見への対応
		連携事業(整理番号)	終期なし	推進事項								
11050500	世界で活躍する人財育成事業					継続(縮小)	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
11053400	異文化理解・英語力向上事業費					継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
11053899	国際交流推進に係る企画及び調整等に関する事務					-	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
11053900	北海道・アルバータ州高校生交換留学促進事業費					継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
11054400	北の未来を担うグローバル人材育成事業					-	継続(拡充)	拡充	拡充		拡充	



施策名	国際理解教育の充実	施策コード	11	08
-----	-----------	-------	----	----

Action 施策・事務事業評価

8 施策評価結果の反映（各部局等が実施）

（1）一次評価結果への主な対応

対応方針	主 な 対 応
<新たな取組等> U-18未来フォーラム事業拠点校は現状の8校体制を維持するが、各拠点校の成果は、各拠点校のHPへの取組の掲載や各拠点校が地域の学校を集めて開催する地区フォーラムにおいて、学校への説明や協議等を通して、より多くの学校へ成果の普及を図っていく。（グローバル人材の育成に向けた英語力向上推進事業（新規））	

（2）二次評価結果への主な対応

意見区分	主 な 対 応	意見区分	主 な 対 応
[施策間の連携状況（関連する施策間・部局間で一層の相互連携が必要）]	総合教育大綱策定の過程において、知事部局と教育委員会の連携を促進し相互に連携を必要とする個別具体的なプロジェクトを着実に進めるため設置された「連携チーム」において、道内の子どもたちの国際感覚を養うための施策について検討を行っていく。		

平成28年度 基本評価調書

施策名	国際理解教育の充実	施策コード	11	08
-----	-----------	-------	----	----

Action 施策・事務事業評価

9 事務事業評価結果（方向性）への対応状況（各部局等が実施）

（1）事務事業評価で示した方向性への対応状況

区分 \ 方向性	見直し検討	拡 充	現状維持	縮 小	統 合	廃 止	終 了	合 計
評価結果	事業	1 事業	4 事業	事業	事業	事業	事業	5 事業
反映結果	事業	1 事業	4 事業	事業	事業	事業	事業	5 事業

（2）次年度新たに実施する事業

次年度新規事業(予定)
2 事業